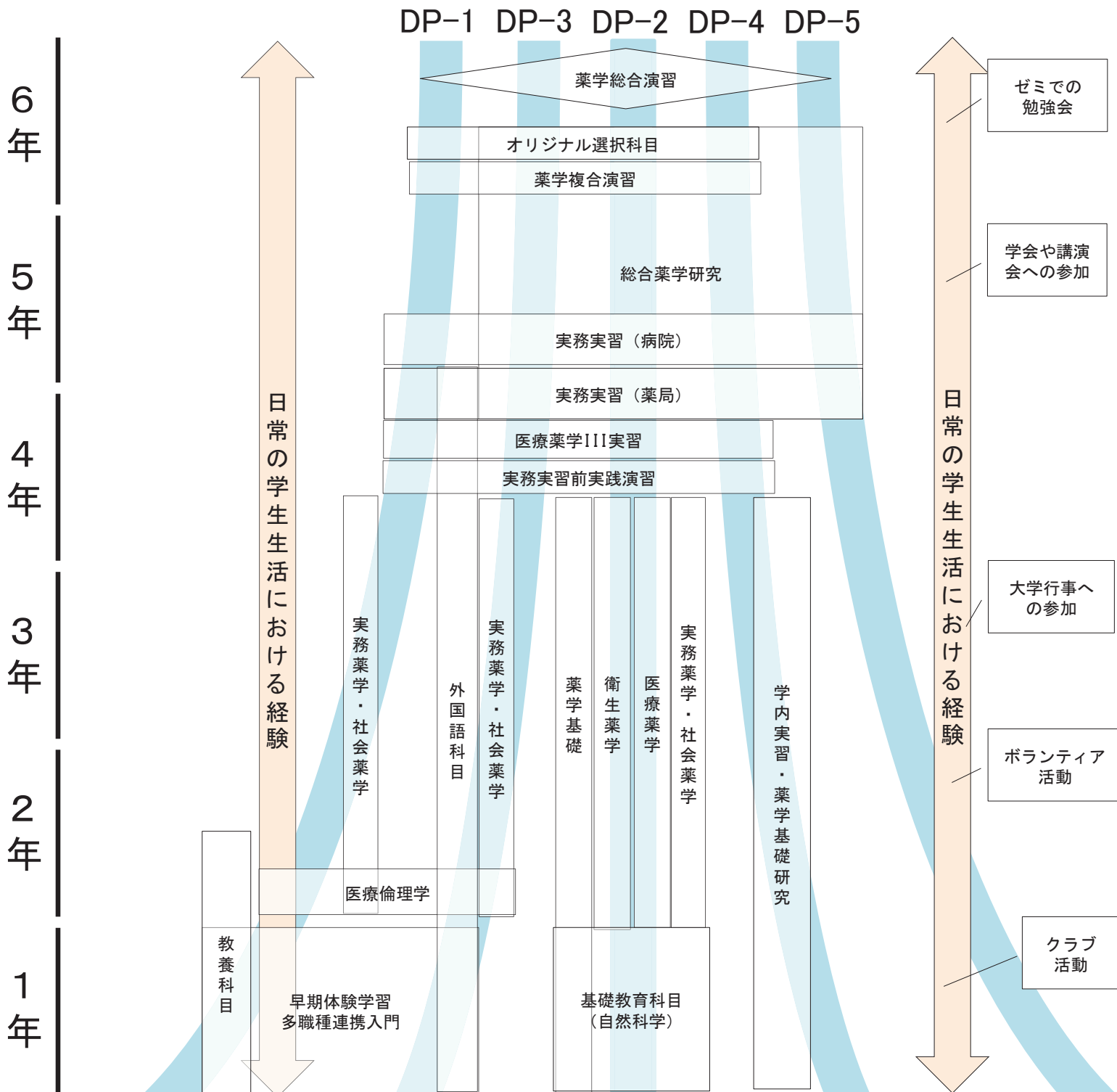


北海道医療大学薬学部カリキュラムツリー (令和6年度第3学年～第6学年対応)

北海道医療大学薬学部のディプロマポリシー(DP; 学位授与の方針)と、6年間を通して学ぶ科目群との大まかな関連性を示しています。科目ごとの関連するDPについてはシラバスを参照してください。

- DP-1 医療人として求められる高い**倫理観**を持ち、**法令を理解**し、他者を思いやる**豊かな人間性**を有する。
- DP-2 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、**基礎から応用までの薬学的知識**を修得している。
- DP-3 多職種が連携する**医療チームに積極的に参画**し、**地域的**および**国際的視野**を持つ薬剤師としてふさわしい**情報収集・評価・提供能力**を有する。
- DP-4 卒業研究や実務実習を通じて、医療の進歩に**対応できる柔軟性**と、臨床における**問題点を発見・解決する能力**を有する。
- DP-5 **後進の育成**に努め、かつ**生涯にわたって常に学び続ける**姿勢と意欲を有する。



薬剤師に求められる10の資質と、北海道医療大学薬学部のディプロマポリシー(DP)との関係
(令和6年度第2学年～6学年対応)

薬学部卒業時に必要とされている資質は以下のとおりです。

＜薬剤師としての心構え＞・・・DP-1

医療の担い手として、豊かな人間性と、生命の尊厳についての深い認識をもち、薬剤師の義務及び法令を遵守するとともに、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を有する。

＜患者・生活者本位の視点＞・・・DP-1

患者の人権を尊重し、患者及びその家族の秘密を守り、常に患者・生活者の立場に立って、これらの人々の安全と利益を最優先する。

＜コミュニケーション能力＞・・・DP-1、3

患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。

＜チーム医療への参画＞・・・DP-3

医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる。

＜基礎的な科学力＞・・・DP-2

生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。

＜薬物療法における実践的能力＞・・・DP-2、3

薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。

＜地域の保健・医療における実践的能力＞・・・DP-3

地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。

＜研究能力＞・・・DP-2、4

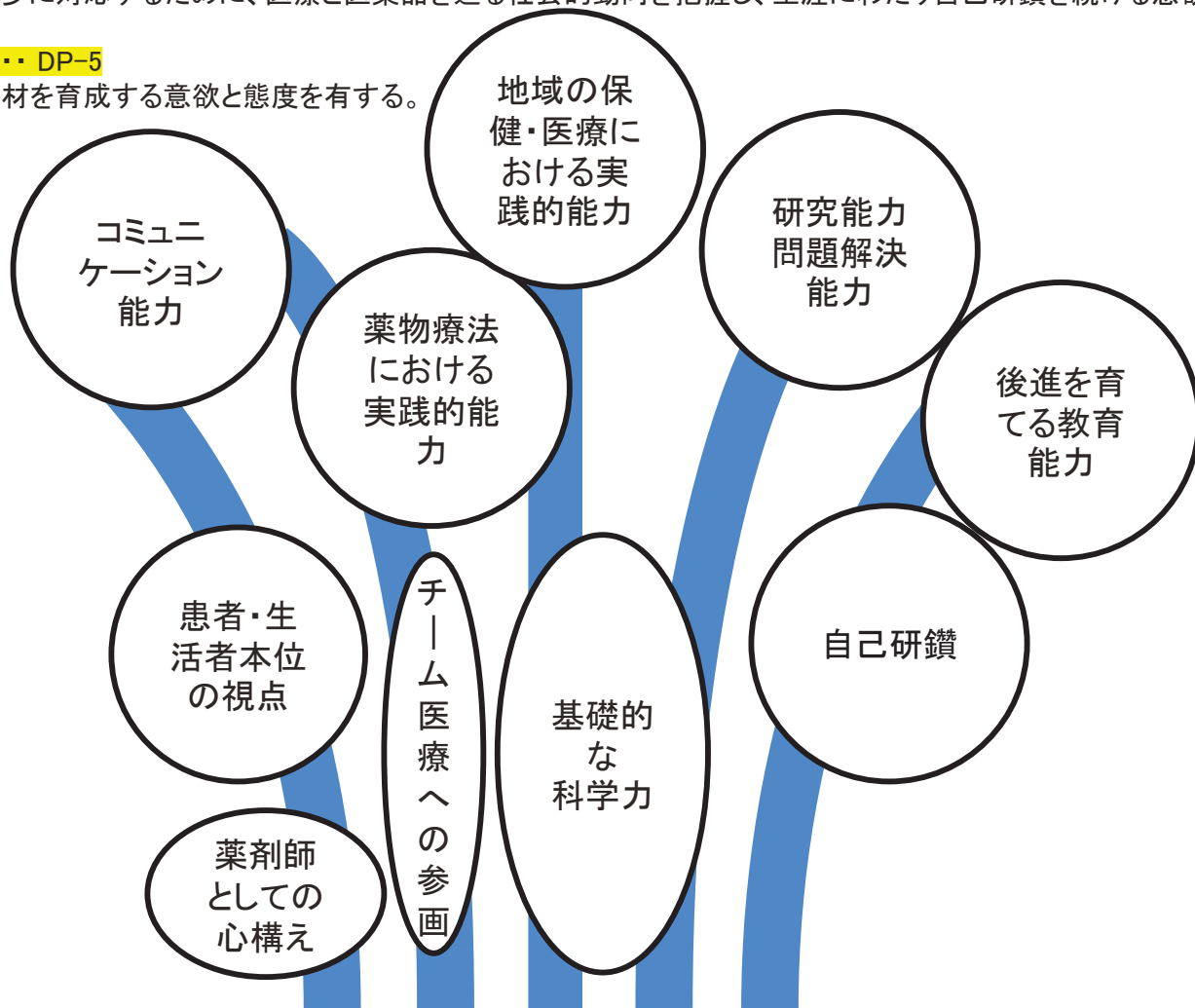
薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する。

＜自己研鑽＞・・・DP-5

薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

＜教育能力＞・・・DP-5

次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。



DP-1 DP-3 DP-2 DP-4 DP-5